

第5回 記録映画研究上映会 ご案内

あけましておめでとうございます。

お陰様で記録映画保存センターも発足後、1年間を実り多く活動出来ました。

これも皆様のご支援のお陰と感謝しております。

さて、昨年4月から始めました定例上映会を、下記のとおり、開催いたします。

今回は前回に引き続き、昭和30年代に絞り、この時代に岩波映画からデビューした羽田澄子監督をお招きして、ご自身の作品上映とお話を伺います。

寒い時期ですが、どうぞお出かけください。

日時 : 2010年2月3日(水) 18時～20時 (映画とお話)

場所 : 銀座 (株)21インコーポレーションB1試写室 (定員40名)
中央区銀座2-11-16 3246-0027

テーマ

岩波映画の女性監督(2) ～岩波映画に見る昭和30年代～

上映作品

「村の婦人学級」 26分 1957年 (製作 小口禎三 監督 羽田澄子 撮影 小村静夫)

「古代の美」 22分 1958年 (製作 吉野馨治 監督 羽田澄子 撮影 藤瀬季彦)

ゲスト : 羽田澄子さん (記録映画監督、岩波映画OB)

*創業期の岩波映画について、30年代について、作品の製作現場から

*参加無料

*参加ご希望の方は記録映画保存センターまでメール又は電話でお申し込み下さい。

主催 一般社団法人記録映画保存センター TEL:03-3222-4249

URL:<http://www.kirokueiga-hozon.jp>

協力 東京大学大学院情報学環「記録映画アーカイブ・プロジェクト」

第5回 記録映画研究上映会

上映作品解説

「村の婦人学級」 35ミリ モノクロ 26分 1957年4月3日 岩波映画製作所自主作品
スタッフ 製作 小口禎三、 監督 羽田澄子、 撮影 小村静夫、 録音 桜井善一郎

羽仁進監督「教室の子供たち」の助監督などを経て「村の婦人学級」でデビュー、この作品は因習から脱しようとする滋賀県の婦人たちの活動を学校教育とのつながりで捉えたもの。このころ岩波映画では佐久間ダム第3部が完成している。

*35ミリ原版廃棄のためF C所蔵の縮小16ミリプリントからデジタル化したDVDで上映

「古代の美」 35ミリ モノクロ 22分 1958年4月1日 企画 東京国立博物館
スタッフ 製作 吉野馨治、 監督 羽田澄子、 撮影 藤瀬季彦、 録音 片山幹夫

翌年、完成した本作品は、本物の埴輪を用い、躍動感あるモンタージュと巧みな音楽構成により古代人の生活を再構成した初期の代表作と言える作品。

その後 脚本・演出の両面において岩波映画の支柱の一人として活躍するスタートとなった作品。教育映画祭特別賞 キネマ旬報ベストテン短編4位

*縮小16ミリプリントから作成したDVDで上映

その後の羽田監督の主な作品

『薄墨の桜』(1977年)

『早池峰の賦』(1982年)

『AKIKO～あるダンサーの肖像』(1985年)

『痴呆性老人の世界』(1986年)

『歌舞伎役者 片岡仁左衛門』(1993年)

『元始、女性は太陽であった～平塚らいてうの生涯』(2001年)

『嗚呼 満蒙開拓団』(2008年)

日時 : 2010年2月3日(水) 18時～20時

場所 : 銀座 (株)21インコーポレーションB1試写室

主催 一般社団法人記録映画保存センター TEL:03-3222-4249

協力 東京大学大学院情報学環「記録映画アーカイブ・プロジェクト」
(株)21インコーポレーション